

平成20年度

焼津漁港 県単漁港維持修繕工事(切削OL工)

夜間工事における安全確保と品質管理

岡村建設工業株式会社

瀧本 良介

夜間舗装工事における安全確保と品質管理

岡村建設工業株式会社

工事部 瀧本良介

1. はじめに

今回、舗装工事を行った港湾道路は焼津湾内を回周する道路であり、近隣住民及び港湾利用者の生活を支える道路ですが、大型トラックの通行の増加等に伴い劣化・老朽化が進んでいることから維持修繕工事として切削オーバーレイを施工することになった。

当初予定では道路全面の切削オーバーレイ(写真①)でしたが事前調査により、施工箇所路面の弱点箇所を明確化しピンポイントで改善することで施工範囲の縮小(写真②)、工程の短縮、供用後の品質維持の向上ができました。

2. 工事概要

- (1) 工事名 平成 20 年度 焼津漁港 県単漁港維持修繕工事(切削 OL 工)
- (2) 発注者 静岡県焼津漁港管理事務所
- (3) 工事箇所 静岡県焼津市中港 地内
- (4) 工期 平成 21 年 2 月 11 日～平成 21 年 3 月 20 日
- (5) 工事内容 切削オーバーレイ 885 ㎡、区画線



写真① 当初の施工範囲



写真② 実施範囲(完成)

3. 現場における課題、問題点

工事に先立ち現地調査及び事前測量を行い、以下の課題・問題点が確認された。

- ① 施工箇所において海側の路線のひび割れ、わだち掘れが多数確認され、現設計の舗装構成での施工で妥当か検討する必要がある。(写真③)
- ② 近隣住民への夜間工事の周知及び振動・騒音に対する十分な説明。
- ③ 夜間工事における第三者及び作業員の安全確保。



写真③ 既設舗装(クラック)

4. 対応策・工夫・改良点

- ① CBR 試験を行いその結果により舗装構成を監督員と協議し以下のように変更した。
ア. 道路片面のみの施工を行う。(破損の多い海側)
イ. 瀝青安定処理を施工する。
- ② 近隣については一軒ずつ説明を行い、理解を得た。
周辺については地区組長に説明し回覧版で周知した。
- ③ 照明を5m毎設置し、昼間同様の明るさとした。(写真④)
交通整理人を各交差点に配置し、さらにダンブ誘導員を配置した。(写真⑤)



写真④ 照明設置状況



写真⑤ 誘導員設置

5. 課題、問題点の対応による結果

- ① 施工範囲の幅員が狭まり、延長が長くなった為施工性が良くなり、施工時間の短縮ができた。又不陸整正後のフィニッシャーによる敷き均し作業はレベルセンサー(写真⑥)を使用した為、精度の高い仕上がりになった。
- ② ①により騒音のする作業(切削作業)をPM10:00頃終わらせることができクレーム等一切無かった。(逆にもの珍しさで見学する方がいた。)
- ③ 道路片側のみ施工の為片側交互規制の切り替えがなくなった為、重点的な安全管理を行うことができ無事終了した。



写真⑥ アスファルトフィニッシャー自動センサー

6. おわりに

今回の工事では、早めの事前調査、測量を行うことにより、舗装構成等の品質管理や安全管理体制を整えることができ、近隣の住民の方の理解を得、結果として舗装施工(夜間工事)をスムーズに事故無く終わらせることができたと思います。